

指揮 飯森範親
Norichika Imori, Conductor

チェロ 佐藤晴真*
Haruma Sato, Cello

無限の 彼方まで

届祈 け、りよ

©山岸伸

©Seiichi Saito

11/14 2025
[金]

19:00開演 18:00開場

東京芸術劇場
コンサートホール

7:00 p.m. Friday, 14th November, 2025
Tokyo Metropolitan Theatre Concert Hall

S席¥7,500 A席¥6,000 B席¥5,000
C席¥4,000 U25¥1,500

チケット発売日: 会員先行発売7.25(金) 一般8.1(金)
[ご予約・お問い合わせ] パシフィックフィルハーモニア東京チケットデスク
03-6206-7356(平日10-18時)

[日本初演]

藤倉大:『Ritual』

～室内オーケストラとエレクトロニクスのための
(ピエール・ブーレーズ財団の助成によるルツェルン音楽祭 &
IRCAM、および香港シンフォニエッタとの共同委嘱作品)

Dai Fujikura: 'Ritual' for orchestra and electronics [Japan Premiere]
(Co-commissioned by Lucerne Festival and IRCAM-Centre Pompidou,
with the support of the Foundation Pierre Boulez, Hong Kong Sinfonietta, and Pacific Philharmonia Tokyo)

サン＝サーンス: チェロ協奏曲第1番 イ短調 作品33 *

Saint-Saëns: Cello Concerto No.1 in A minor, Op.33 *

サン＝サーンス: 交響曲第3番 ハ短調 作品78 「オルガン付き」

Saint-Saëns: Symphony No.3 in C minor, Op.78 'Organ'

オルガン: 浅井美紀
Miki Asai, Organ



音楽監督・飯森範親がおくる興味津々のプログラム。藤倉大の意欲作(日本初演)と、サン＝サーンスによるフランス音楽史上きっての名協奏曲&交響曲が披露される。

いま世界で最も引く手数多の作曲家の一人、藤倉大の作品は、タイトル及び共同委嘱団体の顔ぶれからして実に刺激的。これは貴重な体験となるに違いない。サン＝サーンスのチェロ協奏曲第1番は、ドヴォルザークの作品に次ぐ同ジャンルの代表作ながら、生演奏の機会は必ずしも多くないので、その真髓に触れる好機となる。独奏の佐藤晴真は若手世代屈指の実力者だが、豪放に鳴らすよりも芳醇な音色と濃密な表現が持ち味ゆえ、技巧性と共に明朗で優雅な趣を有するこの曲にすこぶる相応しい。「オルガン付き」交響曲は、桐朋学園時代にフランスの巨匠ジャン・フルネの薫陶を受けた飯森のアプローチが楽しみだし、リオープン後の東京芸術劇場におけるパイプ・オルガンの響きにも注目が集まる。

柴田克彦(音楽評論家)



飯森範親 指揮

NORICHIKA IIMORI

桐朋学園大学指揮科卒業。ベルリン、ミュンヘンで研鑽を積み、これまでにフランクフルト放送響、ケルン放送響、チェコ・フィル、モスクワ放送響等に客演。2001年、ドイツ・ヴェルテンベルク・フィルハーモニー管弦楽団音楽総監督(GMD)に着任、日本ツアーも成功に導いた。国内では1994年以来、東京交響楽団と密接な関係が続け、正指揮者、特別客演指揮者を歴任。2014年、日本センチュリー交響楽団の首席指揮者に就任。2015年より世界的にも例の少ないハイドンの交響曲全曲演奏&録音という一大プロジェクトを手掛け、2025年3月に完結させた。また、オペラでも高い評価を得ており、新国立劇場の2020/2021シーズン開幕公演であるブリテンのオペラ「夏の夜の夢」を指揮、好評を博し大成功を収めた。2024年新国立劇場「コジ・ファン・トゥッテ」に続き、2026年3月には新国立劇場「ドン・ジョヴァンニ」への出演が予定されている。パシフィックフィルハーモニア東京音楽監督、群馬交響楽団常任指揮者、山形交響楽団桂冠指揮者、いずみシンフォニエッタ大阪常任指揮者、東京佼成ウインドオーケストラ首席客演指揮者、中部フィルハーモニー交響楽団常任指揮者。2025年4月より武蔵野音楽大学客員教授に就任し、後進の指導にも力を注ぐ。

オフィシャル・ホームページ <http://iimori-norichika.com/>



佐藤晴真 チェロ

HARUMA SATO

その世代で最も注目を集める気鋭のチェロ奏者。2019年、長い伝統と権威を誇るミュンヘン国際音楽コンクール チェロ部門において日本人として初めて優勝して、一躍国際的に注目を集めた。18年には、ルトスワフスキ国際チェロ・コンクールにおいて第1位および特別賞を受賞している。日本音楽コンクール第1位および徳永賞・黒柳賞、ドメニコ・ガブリエリ・チェロコンクール第1位など、多数の受賞歴を誇る。19年には、本格デビューとなるリサイタル公演を行う。以降、エッシェンバッハ指揮ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団、ポベルカ指揮ブラハ放送交響楽団、バイエルン放送交響楽団をはじめ、国内外の主要オーケストラと共演を重ねており、リサイタルや室内楽にも積極的に取り組んでいる。名門ドイツ・グラモフォンより3枚のアルバムをリリースしている。これまでに林良一、山崎伸子、中木健二の各氏に師事。現在は、ベルリン芸術大学にてイエンス・ペーター・マインツ氏に師事している。第18回齋藤秀雄メモリアル基金賞、第30回出光音楽賞を受賞。21年度文化庁長官表彰。22年、第32回日本製鉄音楽賞を受賞。江副記念リクルート財団第52回奨学生。使用楽器は宗次コレクションより貸与されたE.ロッカ1903年。現在、ベルリンと東京を拠点に活動している。

グラモフォンより3枚のアルバムをリリースしている。これまでに林良一、山崎伸子、中木健二の各氏に師事。現在は、ベルリン芸術大学にてイエンス・ペーター・マインツ氏に師事している。第18回齋藤秀雄メモリアル基金賞、第30回出光音楽賞を受賞。21年度文化庁長官表彰。22年、第32回日本製鉄音楽賞を受賞。江副記念リクルート財団第52回奨学生。使用楽器は宗次コレクションより貸与されたE.ロッカ1903年。現在、ベルリンと東京を拠点に活動している。

パシフィックフィルハーモニア東京 管弦楽

PACIFIC PHILHARMONIA TOKYO

1990年に設立。定期演奏会等の自主公演の他、オペラ、バレエ、音楽鑑賞、レコーディング、テレビ・ラジオ出演など幅広く活動。また2017年からポップス定期演奏会を開催し、アニメ・ゲーム音楽など各界のアーティストと共演を続けている。2018年からは楽団誕生の地である練馬で練馬定期演奏会を開催し、地元根差した活動も行っている。2022年4月には飯森範親が音楽監督に就任し、さらに楽団名を「パシフィックフィルハーモニア東京」へ改称して、更なる飛躍を目指す。音楽監督/飯森範親、指揮者/園田隆一郎、ポップスエグゼクティブプロデューサー/藤原いくろう

チケット [全席指定 消費税10%込]

S席¥7,500 / A席¥6,000

B席¥5,000 / C席¥4,000 / U25¥1,500

※U25はPPTチケットデスクのみ取扱

ppt.or.jp

パシフィックフィルハーモニア東京

03-6206-7356 PPTチケットデスク(平日10-18時)



プレイガイド

☐ イープラス
eplus.jp/



☐ チケットぴあ
t.pia.jp/ [Pコード] 290-143



☐ 東京芸術劇場ボックスオフィス

0570-010-296

休館日を除く10:00~19:00(ナビダイヤル)
※9/6(土)より取扱い開始

<https://www.geigeki.jp/t/>

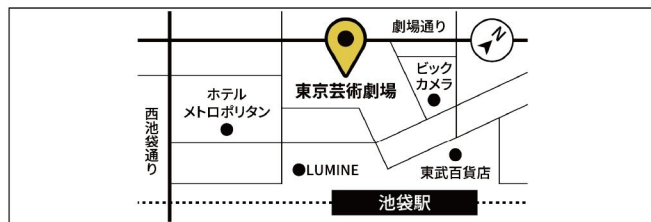
割引

☐ 定期会員割 10%OFF

☐ シニア割(60歳以上) 10%OFF

☐ ユニバーサル割 10%OFF

会場



東京芸術劇場コンサートホール

〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1

池袋駅(JR・東京メトロ丸の内線・有楽町線・副都心線/東武東上線/西武池袋線)
西口徒歩2分 駅地下通路2b出口と直結

パシフィックフィルハーモニア東京の最新情報や
公演活動については、公式HP・SNSをご覧ください。



WEB



X(旧Twitter)



Instagram



Facebook

※ 未就学児の入場はご遠慮ください

※ やむを得ず出演者・曲目が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

※ 転売は固くお断りいたします。

※ 公演中止の場合を除きキャンセル・払い戻しはできません。